

一般質問

教育問題

岡部 栄樹議員
無所属、MIE（津市選出）

問

学校週五日制について、子どもたちは本当に安心して土・日曜日を過ごせているのでしょうか。もちろん学力も大事ですが、その土台となる生活にもっと目を向けるべきです。県生涯学習審議会でも地域による具体的な支援策を県に答申しています。しかし、当初見られた地域での取組も今では姿を消してしまい、例えば中学生では部活動が中心になっているのが現状です。部活動が良いことなのですが、土日もと



総合型地域スポーツクラブ

答

なれば教職員の負担も心配されます。そこで、県教育委員会はこうした部活動の実態を把握されているのでしょうか。また、子どもの土日の過ごし方について、今後どのような支援・取組をされるのか、所見をお聞きます。

部活動における適切な休養日や練習時間の設定については、指導者研修会等を通じて周知を図ってきたところですが、生徒の生活のバランス確保などにも十分配慮し、今後は、総合型地域スポーツクラブを中心として、学校体育と地域スポーツとの連携を図る取組を進めていきます。また、子どもの居場所づくりについて、子どもたちが自主的に企画し運営できるように、いろいろな体験活動のメニューをアドバ

イスするコーディネーターの養成研修や、小中等学校の学校開放を一層進めていきたいと考えています。

- その他の質問事項
- ・ ごみ固形燃料（RDF）焼却施設 他

教育の諸課題

藤田 泰樹議員
新政みえ（四日市市選出）

問

子どもの連れ去り事件や児童虐待が毎日のように報道され、不登校など学校だけでは解決できない教育課題が増え続けています。こ

うした状況の中、国が発表した「教育の構造改革」では、「児童生徒や保護者の選択を通じた学校の個性化」などによる「特色ある学校づくり」が示されています。しかし、「特色ある学校づくり」とは、選択を通じて学校を個性化することではありません。地域と共に子どもを育てる環境をつくりあげ、伝統や文化を共有していくことにより、「地域に根ざした学校」をつくりあげていくことです。また、このような地域との連携なくしては子どもを守ることができなくなっています。

そこで、こうした地域に根ざした学校づくりを進めていく必要があると考えますが、県教育委員会の所見をお聞きます。

答

学校における教育は、全国均一の画一的なものではなく、地域における自然、特色ある文化や歴史などを積極的に取り入れ、子どもたちにとつて身近で興味や関心がわくものでなければならぬと考えています。また、学校を地域の人々にとつて開かれたものとし、地域と連携した学校づくりを進めることも重要だと考えており、各学校でも様々な取組が始められているところです。今後とも、各学校において地域と連携し、子ども一人ひとりの興味や関心を大切にしたいと考えています。

- その他の質問事項
- ・ 市町村合併



総合的な学習の時間〈昔の脱穀〉

中小企業（既存産業）対策

水谷 隆議員
自由民主党・無所属議員団（旧員弁郡選出）

問

県内産業が今後ともたくましく発展していくためには、地域に密着した既存中小企業の活性化はもとより、ベンチャー企業など新たな事業を育てていくことが極めて重要です。なぜなら、これらの展開が、県内産業の活性化や雇用の確保にもつながってくるからです。しかし、ベンチャー企業には将来性のある技術があっても、その技術を活かす資金や経営ノウハウがありません。そのため、継続的な支援サービスが重要となります。一方、今やベンチャー支援も地方公共団体の持てる資源を活かした知恵比べといった一面を持ち、起業家にとって魅力的なサービスを提供していく必要があります。

そこで、県のベンチャー支援策の強みや独自性について、所見をお聞きます。